

みらい川崎市議会議員団

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1  
電話 044-200-3355

元気な川崎！ 生き生き川崎区！

市政だより

2026  
新春号

川崎市議会議員

林としお

国民  
民主党

2026年1月吉日

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたことと存じます。

そして、日頃より多くの皆様に、心温まるご支援・ご理解を頂いておりますことに、改めて御礼を申し上げます。

川崎市は、昨年、新たな100年に向けてスタートを切り、10月には川崎市長選挙が行われ、福田市長が4期目の当選を果たされました。11月26日から12月22日まで開催された令和7年第4回定例会本会議では、市長選で示された公約等についても様々な議論をさせていただきました。とりわけ、令和8年度からは、新たな「川崎市総合計画」の下、政策を展開していく節目の年となります。

本年も引き続き、「子どもからお年寄りの皆さんまで誰もが安心して安全に暮らせる地域づくり」に向けて、市民・働く者の立場に立って、市議会の役割と責任を十分に認識するとともに、総合的な視点にたって誠心誠意取り組んでいく所存です。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして、幸多い年であることと、ご健勝を心よりご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 令和7年第4回 市議会定例会を終えて

「令和7年第4回川崎市議会定例会」が11月26日から開催され12月22日に閉会となりました。

みらい川崎市議会議員団では、代表質問を12月8日に行い、市政一般や提出された議案について質問しました。また、今定例会に提出された「令和7年度川崎市一般会計補正予算」や「川崎市総合福祉センターの指定管理者の指定について」など、48件の議案について審議の結果、全議案とも原案通り可決・決定をしました。

市議会報告として、会派代表質問トピックスならびに、林敏夫が12月19日に行いました一般質問の概要などを報告させていただきます。

## 〈会派代表質問トピックス〉

### 労働会館施設改修設備費及び 教育文化会館再整備事業費について

**質問** 労働会館改修整備は供用開始が2026年度まで延期され、工事費総額は、当初の約48億円から更に増加し113億1千万円と2倍以上となっています。本市の公共建築物整備の歴史に汚点を残すものであり、市民感覚としても看過できるものではありません。市長に見解を伺います。

**回答（市長）** 今回、工事費が大幅に増額するとともに、工期の延長に伴い供用開始が遅れ、市民の皆様にご不便等をおかけし、大変申し訳なく思っています。今後の公共施設の工事手法の決定に当たっては、施設の状況を詳細に把握し、施設の規模や、躯体の構造の状態などに応じて、適切な手法を選択していきます。また、本事業については、今回の改修の判断に至った要因や、事前調査の重要性など速やかに検証を行っていきます。

### 多摩川河川敷における トイレ整備について

**質問** 河川敷のトイレ整備については、設備更新だけでなく男女別、バリアフリー化、乳幼児用設備等の付加、及び、トイレ整備に合わせAEDを設置する等、機能拡充も同時に進めるべきと考えますが、見解と対応を伺います。



**回答（市長）** 新たに整備するトイレについては、多摩川河川敷の更なる賑わいの創出や利用者の利便性の向上に向け、女性も利用しやすく、明るく快適なトイレを導入効果の高いエリアから集中的に整備していきます。

AEDの設置についても、利用者の安全に資するためにも重要であると認識しており、併せて検討していきます。

### 学校施設における浸水対策について

**質問** 施設の被害を軽減するためにも、学校現場で事前準備を行う担当者を決める等、「運用の明確化」が必要です。施設被害を最小限にするためにも、学校現場における「役割分担」や「運用の明確化」は速やかに実施すべきと考えます。見解と対応は。

**回答（教育次長）** 局にて新たに浸水対策の手引を作成し、具体的な対応方法を学校に示すとともに、各学校の危機管理に関する方針を定めている学校防災対策指針を改定し、役割分担や担当者を定める等、学校施設や児童生徒の安全確保に取り組んでいきます。

### 福祉施設等の浸水対策について

**質問** 令和元年東日本台風からの教訓として指定管理者との役割分担や風水害対策を協定書に盛り込むことなど繰返し求めてきました。今回、協定書に記載はあるものの、具体策を講じていない指定管理者の存在が明らかになりました。人命に関わることから、速やかに改善に努めるべきと考えます。対応を伺います。

**回答（健康福祉局長）** 今後、未対応の指定管理者のみならず、その他施設での受託事業者等に対し、利用者の皆様の安全を確保するため「指定管理者制度導入施設における災害対応に関する方針」に基づき、次年度の出水期前までにマニュアルの作成を着実に進め、併せて、役割分担の確認等必要な対応を速やかに図るよう指導を行っていきます。

## 保育士宿舎借上げ支援事業について

**質問** 保育士確保は最重要課題となっており、近隣他都市との格差解消は必須となっています。国は、5年連続して補助対象期間を短縮し、令和7年度は補助基準額も減額しました。本市は、令和7年度においては減額分を補填し、補助金額を維持していますが、今後も東京都や横浜市と同様、維持すべきです。市長に見解と対応を伺います。

**回答（市長）** 本事業は人材確保策の中、特に効果的かつ重要な役割を果たしていると認識しており、国の事業縮小により、新規採用が困難になることや他都市への人材流出につながることを懸念しているところです。質の高い保育を維持するため、国や近隣自治体の動向、運営法人の状況や意向等も踏まえ、拡充について検討しているところです。

## 「令和7年度川崎市一般会計補正予算」 【子育て応援手当】について

**質問** これは、11月28日に閣議決定された2025年度補正予算案において、児童手当支給対象児童1人当たり2万円を給付する「物価高対応子育て応援手当」が計上され、本市においても国庫を活用し支援を行うものです。

初めに、事業費46億9,505万円の内訳について伺います。

また、対象児童には令和8年3月31日までに生

まれる新生児が含まれ、給付までに年度がまたがることが想定されます。予算措置について伺います。

次に、支給基準日と支給時期について伺います。

次に、支給方法についてです。児童手当受給者世帯については、支給のお知らせをし、その確認後、支給するとのこと。詳細を伺います。

**回答（子ども未来局長）** 事業費の内訳につきましては、手当支給額として、45億4千万円、事務処理センター委託料として、7,350万1千円、郵送料として3,141万6千円、封入封緘委託料として1,360万円、システム改修委託料として1,346万1千円等を計上しています。予算については、新生児世帯は、令和8年3月31日までに生まれる新生児を養育する父母等が対象となっていることから、翌年度に支給が見込まれるため、令和8年度に支給する手当額等については、必要な額を精査し、繰越については、関係局と調整してまいります。

支給基準日については、令和7年9月30日でありまして、支給時期については、児童手当受給世帯は令和8年2月下旬、公務員世帯及び新生児世帯については、原則として令和8年3月中旬以降を予定しています。

児童手当受給世帯に対する支給方法については、本市が既に保有している児童手当の受給者情報を活用し、プッシュ型により、支給のお知らせを令和8年2月中旬に送付して、受取拒否の申出期間を設けた上で、2月下旬に、児童手当の受取口座に支給することを予定しています。



## 〈一般質問トピックス〉

### 河港水門周辺の 高規格堤防化に向けた対応について

**質問** 河港水門周辺の高規格堤防化に向けた対応について、令和6年第4回定例会一般質問でも取り上げさせていただきました。前回の質疑から1年が経過しましたが、その後の国との調整状況の進捗については。



**回答（建設緑政局長）** 本市と国、味の素の3者で締結した共同検討協定書に基づき、今年度、会議を2回開催し、む高規格堤防を施工する上での課題等を共有したところです。また、「国の予算編成に対する要望書」において、高規格堤防の整備の着実な推進について、引き続

き、国に要望しているところです。

**質問** 堤防を前倒しし高規格堤防化した際の、上面利用についても、提案をさせていただきましたが、その後の検討状況は。

**回答（建設緑政局長）** 高規格堤防完成後を見据えた河港水門の保存方法や周辺の上面利用については、庁内関係部署のほか、国や学識経験者を含めた検討会議として、7月に現場見学会を、10月に意見交換会を開催したところです。高規格堤防による治水安全度の向上のほか、河港水門の文化財としての価値を活かしながら、市民の憩いの場となるよう、上面利用について検討を行っているところです。今後、今年度中に会議の開催を2回予定しており、検討結果を取りまとめ、その後、国の高規格堤防の事業化に向け、調整していきます。

## 蛍光灯のLED化の促進について

**質問** 本市は公共施設のLED化に向けた対応について、全庁的な取組として、2030年までに全公共施設の実施を目指しています。所管局としての集約状況と達成状況については。

**回答（環境局長）** 本市では、地球温暖化対策推進基本計画に基づき、公共施設のLED化を進めており、毎年7月頃に庁内へ照会を行い、進捗状況を把握するとともに、今後の整備スケジュール等について協議・調整し取組を進めているところです。令和6年度末時点の進捗率については、LED化実施済み施設は502施設で全体の約56%となっています。

**質問** 町内会館のLED化の促進についてです。各町内会館についても、2027年末までに蛍光灯の製造が禁止になることを踏まえれば、LED化を進めなければなりません。



「町内会・自治会会館 整備補助金制度」については、「その他改修等」としてLED化整備でも申請は可能ですが、100万円以上の工事が対象となっています。脱炭素社会実現のための施策としての重要な取組でもあることから、100万円未満の工事でも申請ができるよう、制度や要綱の見直しをすべきと考えますが、見解と対応については。

**回答（市民文化局長）** 本補助金については、地域活動の拠点である会館の整備促進を図り、町内会・自治会の活動の活性化などに寄与することを目的としていることから、大規模修繕等の100万円以上の工事については、本補助金の対象となっています。これまでの事例として、LED化工事の場合には、工事費が100万円未満になるケースもあり、その場合は本補助制度の対象外となり、町内会・自治会の負担によって対応していただいているところです。

LED化工事の補助対象の取扱いについては、今後、他都市の補助制度の確認や、町内会・自治会の方からのご意見も伺うなど、調査・研究していきます。

## 富士見公園における「イベントプール」の実施状況及び対応について

**質問** 富士見公園における「インクルーシブなスポーツ広場」の活用について、これまで議会でも取り上げ質疑をさせていただきました。

夏には、親子で楽しむことができる「イベントプール」が設置されました。

地域の方々からは「楽しかった」「また行きたい」等評判の声があがっています。利用実績の総括と課題について伺います。

また、来年度も開催すべきと考えますが、見解と対応については。

**回答（建設緑政局長）** イベントプールについては、水による賑わい創出や、富士見公園の魅力向上のために、事業主が自主事業として、未就学児から小学生までを対象に、7月19日から8月24日までの平日の木曜日、金曜日と、土日祝日に実施したものです。利用実績としては、平日は10日間で計1,430人、土日祝日は14日間で計4,024人となっており、合計としましては、24日間で5,454人にご利用いただいたところです。

課題としましては、暑さの影響により、当初見込みよりも利用者が少なかったことや、人件費や水道光熱費の高騰、当初計画より夜間警備が必要となり、運営コストが増加したことでありまして、結果として収入に比べ支出が多かったところです。

来年度以降についても、イベントプールは夏でも親子で富士見公園を楽しんでもらうために必要な事業と考えていまして、実施に向けては、営業時期、規模、料金設定、安全管理などの運営方法や、魅力的なアトラクションの設置、他のイベントとの連携による集客力の向上による収益の確保のほか、効果的な広報等について、事業者と協議、調整していきます。



連絡先：〒210-0835 川崎市追分町6-2 エステート森101  
TEL. 044-223-6625 / FAX. 044-223-6635

LINE  
公式アカウント



電話連絡は平日の10時～17時  
留守の際は、留守番電話にご伝言をお願いします。

プロフィール

○昭和39年1月28日生まれ  
○1982年 JFE（旧日本鋼管）京浜製鉄所入社  
○2014年 JFEスチール東日本製鉄所（京浜地区）総務部  
○2023年 川崎市議会議員3期目当選  
【常任委員会】2025年度 総務委員会委員  
◇みらい市議会議員団 副団長  
◇川崎市バレーボール協会副会長  
◇川崎市少年野球連盟後援副会長

お住いの地域でお困りのことがありましたら  
遠慮なく連絡をしてください

